

広島県廿日市市立原小学校と廿日市中学校に休憩室が整備・拡充されました

横になれるソファを設置（原小学校）



電子レンジや冷蔵庫を設置（原小学校）



横になれるソファと
リラックスマチェアを設置（廿日市中学校）



複数人で飲食できるように
元々学校にあったテーブルも活用（廿日市中学校）



当共済組合の「教職員の働き方改革のためのマザーズルーム等の設置に対する支援事業」を活用し、令和6年1月29日に廿日市市立原小学校に、同年2月29日に廿日市市立廿日市中学校に、それぞれリフレッシュルームが設置されました。

両校とも、元々は備品の保管に使用していた部屋の畳を新しくし、昼休憩や夕方に複数名で食事ができるようにテーブルを置いて、休憩室として整備されたそうです。また、急な体調不良の際に横になれるように大きめのソファなど、実際に休憩室を利用する先生方にアンケートを取って設置する備品の選定をされたとのことでした。

原小学校の齊藤校長は、「昼食時など限定的な利用が多いため、心身ともに健康的に働けるような利用方法を模索したい」とお話しされていました。

また、廿日市中学校の岡本校長は、「休憩時間に先生同士が一緒になると、お互いが休憩中でプライベートな時間という意識になり、自然とコミュニケーションが増えている印象がある。」とお話しされていました。

基本情報	原小学校	児童数	61人	教職員数	16人
	廿日市中学校	生徒数	554人	教職員数	59人

（令和6年5月1日現在）